

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公表番号】特表2008-542511(P2008-542511A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-515178(P2008-515178)

【国際特許分類】

C 08 L	23/00	(2006.01)
C 08 K	3/34	(2006.01)
C 08 L	51/06	(2006.01)
C 08 J	3/22	(2006.01)
D 01 F	6/46	(2006.01)
D 04 H	1/42	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/00	
C 08 K	3/34	
C 08 L	51/06	
C 08 J	3/22	C E S
D 01 F	6/46	A
D 04 H	1/42	K

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月10日(2009.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記成分：

(A) 結晶性又は半結晶性ポリオレフィン樹脂；及び

(B) 層化した無機物を含むナノサイズ充填剤

を含むポリオレフィンナノコンポジット材料であって、層化無機物の無機分の量がポリオレフィン樹脂(A)100重量部当り0.02~3重量部であり、成分(A)の溶融流量値MFR(1)対ポリオレフィンナノコンポジット材料の溶融流量値MFR(2)のMFR(1)/MFR(2)比は少なくとも1.02である、前記ポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項2】

成分(B)が層状珪酸塩である請求項1に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項3】

層化無機物の無機分の量はポリオレフィン樹脂(A)100重量部当り0.03~3重量部である請求項1に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項4】

グラフト化ポリオレフィンから選択される相容化剤をさらに含む請求項1記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項5】

請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法であって、
1) ポリオレフィン樹脂とナノサイズ無機充填剤 (B) とを混合することによりマスターバッチを製造すること ; 及び
2) 段階 (1) で製造したマスターバッチとポリオレフィン成分 (A) とを混合することを含む前記ポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法。

【請求項 6】

前記ナノサイズ無機充填剤 (B) をポリオレフィン樹脂が溶融状態のときに当該ポリオレフィンに加える、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

溶融ポリオレフィン成分 (A) に直接的に未稀釀無機充填剤 (B) を添加する一工程を含む請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリオレフィンナノコンポジット材料を含む纖維。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の纖維を含む不織布。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリオレフィンナノコンポジット材料を含むフィルム。
。